

# 「ベルせん」

～なでしこ小学校～



平成30年11月15日(木)に湘南ベルマーレの選手が平塚市内の小学校を訪問し、授業を行う「ベルせん」が実施されました。

7年目を迎える今年度は、市内の7校に29名の選手が訪れ、「夢」について、自分自身の経験を語り、夢に向かって努力する大切さや夢を持つことの素晴らしさを伝え、子ども達とふれあい貴重な時間を共に過ごしました。

今回取材したのは、悲願の初優勝を果たした「Jリーグ YBC ルヴァンカップ」を持参し訪れた平塚市立なでしこ小学校。6年1組に訪問したのは、梅崎 司選手(写真左)と新井 光選手(右)。初めて見るカップに子ども達のテンションも上がり、選手が語る夢を持ち、夢を実現させる素晴らしさについて、真剣なまなざしで聞き入っていました。



梅崎選手は子ども達に「プロとして14年が経ち、人生に夢があると言えることが素晴らしいこと。遊びや勉強、スポーツなど、全部でどれだけ楽しめることを見つける事が大事。楽しい事へ向かって、一步一步努力してください。」と伝えました。



新井選手は「小学校1年生からサッカーを始め、その時からサッカー選手になることが夢だった。高校1年生の時U-16の日本代表に選ばれたが、周りの選手が上手くて挫折しかけたが、夢を諦めきれず練習をした。諦めないことが大事。」と伝えました。

その後、子ども達からの質問

Q「チームワークの大切さはなんですか？」に

**梅崎選手**：「楽しいことも辛いこともたくさん経験してきた。監督、仲間、ファンの方に助けられた自分の経験をチームに対し発言をするようになり視野が広がった。若手選手を活かすことも先輩の役割。いろいろな選手がいるからチームとして成り立つ。」と答え、チームをまとめ、後輩にも慕われている理由が垣間見えました。

Q「優勝しても後悔はするんですか？」には、

**新井選手**：「自分が試合に出られないときは悔しくて、優勝しても100%嬉しいとは言えなかったがその反面、次のために努力をしようという前向きな気持ちを保てた。」と答えました。

Q「緊張しないためにはどうしたらいいですか？」には、

**梅崎選手**：「緊張は自分の殻を破り、成長するためのチャンス。達成した時、乗り越えた時のイメージを持つことが大切。ステップアップのために緊張は必要なこと。」という答えを子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

Q「どうしてサッカーに集中できるんですか？」

**新井選手**：「もっと上手になりたいということを考えると、自然と集中できる。」と答え、ベルマーレの一員としての自覚を自負している姿を見ることができました。



隣の6年2組では、小川慶治朗選手(左)と後藤雅明選手(右)の「ベルせん」

時間が足りなくなるほどの質問が子どもたちから寄せられました。その後、両選手から優勝時のTシャツ、スパイク、選手のサイン入りTシャツがプレゼントされました。

最後に子ども達の持ち物に選手がサインをしていただき、集合写真を撮影しあっという間に「ベルせん」が終了しました。



★「ベルせん」の様子は、湘南ベルマーレのホームページでも紹介されています。

<http://www.bellmare.co.jp/206155>